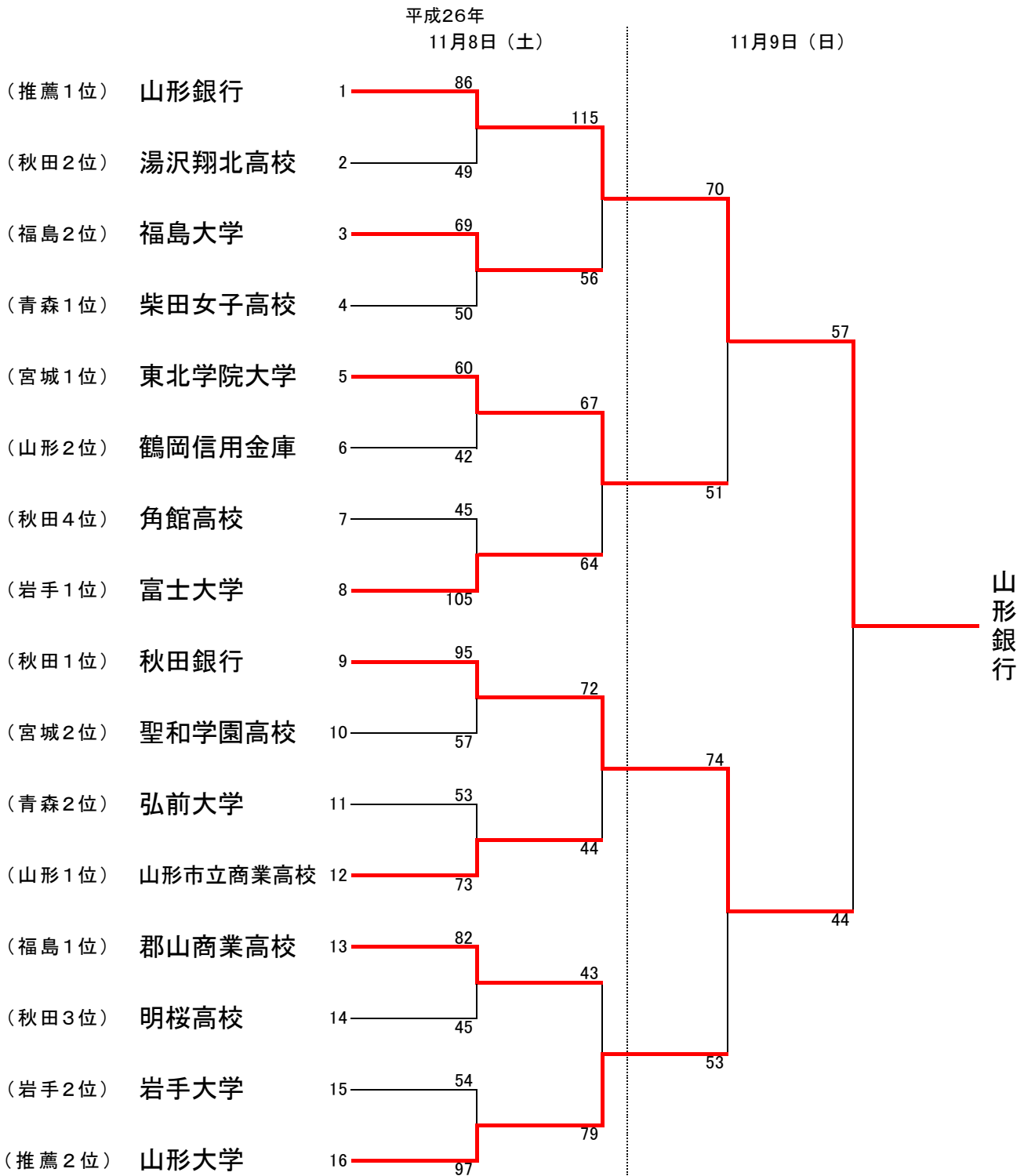


第69回東北男女総合バスケットボール選手権大会

兼 第90回天皇杯・第81回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権大会東北地区予選会

女子の部



大会名 Competition	第69回 東北男女総合バスケットボール選手権大会 ※第90回 天皇杯 第81回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権大会 東北地区予選会
女子決勝	Year Month Day Time 2014 年 11 月 9 日 12 : 30
場所 Place	秋田市立体育館



秋田県バスケットボール協会

チームA 山形銀行 57 ○	<table border="1"> <tr><td>14 1st</td><td>10</td></tr> <tr><td>11 2nd</td><td>20</td></tr> <tr><td>16 3rd</td><td>8</td></tr> <tr><td>16 4th</td><td>6</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	14 1st	10	11 2nd	20	16 3rd	8	16 4th	6	OT		チームB 秋田銀行 44 ●
14 1st	10											
11 2nd	20											
16 3rd	8											
16 4th	6											
OT												

主審:Referee
北沢 あや子 宮城
副審:Umpire
熊谷 久美子 青森
富樫 彰子 宮城
テーブルオフィシャル:Table officials
秋田県バスケットボール協会TO委員会

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4		相澤 妹佳		-	-	-	-	0	4	×	金 吏子	CAP	6	0	3	0	2
5	×	佐藤 綾香		12	0	5	2	3	5	×	佐々木 知香		0	0	0	0	1
6	×	赤川 愛	CAP	2	0	1	0	1	6		鈴木 友佳子		-	-	-	-	0
7		熊谷 菜奈		-	-	-	-	0	7	/	小松 恵		5	0	2	1	3
8	/	渋谷 実菜子		7	0	2	3	4	8	/	大山 未由		0	0	0	0	1
9	×	佐藤 優香		10	0	3	4	2	9		橋田 幸華		-	-	-	-	0
10	×	阿部 愛美		13	3	2	0	1	10	/	永野 友香里		5	0	1	3	2
11	/	青山 彩七		3	0	1	1	1	11	×	加藤 茉奈美		8	0	2	4	4
12		中村 早希		-	-	-	-	0	12	×	成田 麻沙美		3	1	0	0	3
13		岩井 萌		-	-	-	-	0	13	×	伊藤 美和子		17	0	7	3	3
15	×	倉永 あずさ		10	0	5	0	1	14		北山 愛梨		-	-	-	-	0
				-	-	-	-	0	15		加藤 三津子		-	-	-	-	0
				-	-	-	-	0					-	-	-	-	0
				-	-	-	-	0					-	-	-	-	0
				-	-	-	-	0					-	-	-	-	0
				-	-	-	-	0					-	-	-	-	0
				-	-	-	-	0					-	-	-	-	0
				-	-	-	-	0					-	-	-	-	0
				-	-	-	-	0					-	-	-	-	0
				-	-	-	-	0					-	-	-	-	0
コーチ		福島 雅人							コーチ		古田 悟						
合計				57	3	19	10	13	合計				44	1	15	11	19

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

女子決勝は大会7連覇を目指す山形銀行と7年ぶりの優勝を狙う地元秋田銀行との顔合わせとなった。

第1ピリオド:両チーム、ハーフコートマンツーマンでスタート。山形銀行は#10阿部の連続3Pが決まり試合の主導権を握る。秋田銀行は#13伊藤、#11加藤のジャンプシュートで得点を重ねるが山形銀行のディフェンスを崩せず攻撃のリズムを作れない。一方、山形銀行もオフェンスのミスが続き得点を伸ばす事が出来ず、14対10の山形銀行リードで終了。

第2ピリオド:秋田銀行がスタートから、#4金の連続スティールで加点し同点に追いつく。秋田銀行はディフェンスも頑張りを見せ、山形銀行のミスを誘い#13伊藤、#11加藤の連続ポイントにより逆転に成功する。山形銀行は残り5分でタイムアウトを請求するがリズムは変わらず、積極的なディフェンスを仕掛けた秋田銀行が主導権を握り、30対25で秋田銀行が逆転して終了。

第3ピリオド:両チーム、積極的なディフェンスを仕掛ける。簡単に得点を許さない展開となる中、山形銀行#9佐藤のバスケットカウント、#15倉永、#10阿部の得点で同点に追いつく。さらに、秋田銀行のディフェンスが緩んだところを#5佐藤、#8渋谷の得点で逆転する。一方、秋田銀行は#4金、#11加藤、#13伊藤が得点するがなかなか攻撃のリズムを作れず、41対38で山形銀行リードで終了。

第4ピリオド:両チーム互いに主導権を握れない中、ミスが続く秋田銀行に対し、山形銀行は#8渋谷、#15倉永、#5佐藤、#9佐藤が着実に得点を重ね、試合の主導権を掴む。一方、秋田銀行は山形銀行の堅い守りに苦しみ得点が出来ず、開始5分過ぎようやく#7小松がこのピリオド初得点を決める。その後も試合は山形銀行が安定した試合運びをみせ、57対44で山形銀行が7年連続12回目の優勝を飾った。